



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 7年 2月 1日発行

園長 伊賀 治

思いやりと感謝の心を育むために



1年を通じて1番寒さの厳しい時期になりました。インフルエンザ対策を含め体調管理には十分ご留意下さい。

さて、2月2日は節分です。「鬼は外、福は内」と豆まきをしたり、恵方巻を食べるご家庭もあろうかと思えます。「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めての行事とされています。こども園の子どもたちが怪我や病気もなく健やかに過ごせることを願っています。



今年度も残すところあと2ヶ月となり、進学・進級に向けてのまとめの時期となりました。子どもたちにとって充実した日々になるよう取り組んでまいります。特に、さくら組は小学校進学に向けての準備を進めてまいります。

★インフルエンザ対応について（お願い）

全国的にもインフルエンザの流行期にありますが、倉治こども園では今のところ比較的落ち着いた状況にあります。今後、罹患者の多いクラスにつきましては、感染拡大を防ぐために、家庭保育協力日といたします。（3日間程度）なお、勤務の関係で保育を必要とされる場合には、クラス担任までお知らせください。ご理解とご協力いただきますようお願い申し上げます。

【7つの言葉 ～芦田愛菜さんのお母さんの教え～】

女優の芦田愛菜さんは、勉強熱心で、礼儀正しい方でもありと評判は高く、その受け答えからも、とても誠実な人ながら伝わってきます。そこには、幼少の頃からのお母さんからの教えがあったようです。

『おはよう』『さようなら』『ありがとう』『ごめんなさい』『わかりません』『お願いします』『知りません』の「7つの言葉」を大切にされていたそうです。

ほかに、『子どもの「なんで？」に徹底して付き合う』『子どもの興味あることにとことん本気で向き合い応援する』といった姿勢を崩さないこともモットーだったそうです。芦田さんの知的で謙虚な一面はお母さんの教育の賜物ですね。



「お正月遊び」1月10日

新年を迎え、お正月にちなんだ遊びを経験しました。この日は小雪がちらつく寒い日でしたが、子どもたちは寒さにも負けず元気いっぱいでした。園庭で凧あげ、ホールなどでコマ回しや羽子板など昔ながらの伝統的な遊びに挑戦しました。日頃とは違った活動を経験し、笑顔で「園長先生、めっちゃ楽しかった」などと次々に報告に来てくれました。



「お店屋さんごっこ」1月29日

この行事は、お店でのお買い物を楽しむことと、お店屋さんとしてお世話する喜びを経験する行事になります。お客さんのことを思い浮かべながら準備することに意味があり、相手のことを思う心が育ちます。売るほうも買うほうも子どもたちの笑顔が印象的な行事になりました。参観ありがとうございました。

お店屋さんごっこ



「マラソン大会」1月21日～23日

倉治小学校の運動場をお借りし、2～5歳児はマラソン大会を実施しました。幸い穏やかな気候の中で実施することができました。保護者の皆様には多数ご参観いただきありがとうございました。さくら組におきまして不手際があり、子どもたちに負担をかけましたこと申し訳ありませんでした。寒い時期ですが、引き続き、保育の一環として日頃から園庭等で体を動かす機会を作っていきたいと思っております。



「卒園遠足」堺市立ビッグバンへ

さくら組は、卒業遠足としてビッグバンに行ってきました。さくら組にとっては、クラスメートと行く最後の遠足となりました。インフルエンザの流行期にある中、全員が参加でき本当によかったです。遊具の塔では高さ53mの巨大ジャングルジムにも挑戦しました。一つ一つが思い出の1ページになったことと思います。

